

令和7年度身体障害者レクリエーション教室
「天平ろまん館で砂金取り体験をしよう」
を実施しました

令和7年11月4日
法人本部・事務局

令和7年11月4日（火）に、令和7年度身体に障害のある方のためのレクリエーション教室「天平ろまん館で砂金とり体験をしよう」を開催しました。

当日はお天気にも恵まれ、計89名ととても多くの方にご参加いただきました。今年度は、昨年度までの仙台駅東口のバスターミナルと仙台市太白障害者福祉センターに加え、泉障害者福祉センターをバスの発着場所に、大型リフトバス3台にて実施しました。

天平ろまん館では、2グループに分かれて歴史資料館の見学と砂金取り体験を行いました。天平ろまん館のある宮城県遠田郡涌谷町は、日本で初めて金が算出された地とされております。歴史資料館では、奈良時代に東大寺の大仏建立に使われた黄金の物語を学べる展示などを、職員の方に丁寧に説明していただきながら、見学することができました。また砂金取り体験では、ざるで砂をすくい、砂金を取り出す作業を真剣に取り組んでおり、障害種別を問わず楽しむことができました。

また道の駅東松島では、昼食を堪能し、東松島ならではのお土産の購入などができました。参加された皆様からは、との感想をいただきました。

今後も地域で暮らされているみなさまが、交流を楽しみ笑顔になれる、さまざまな教室を計画してまいります。

